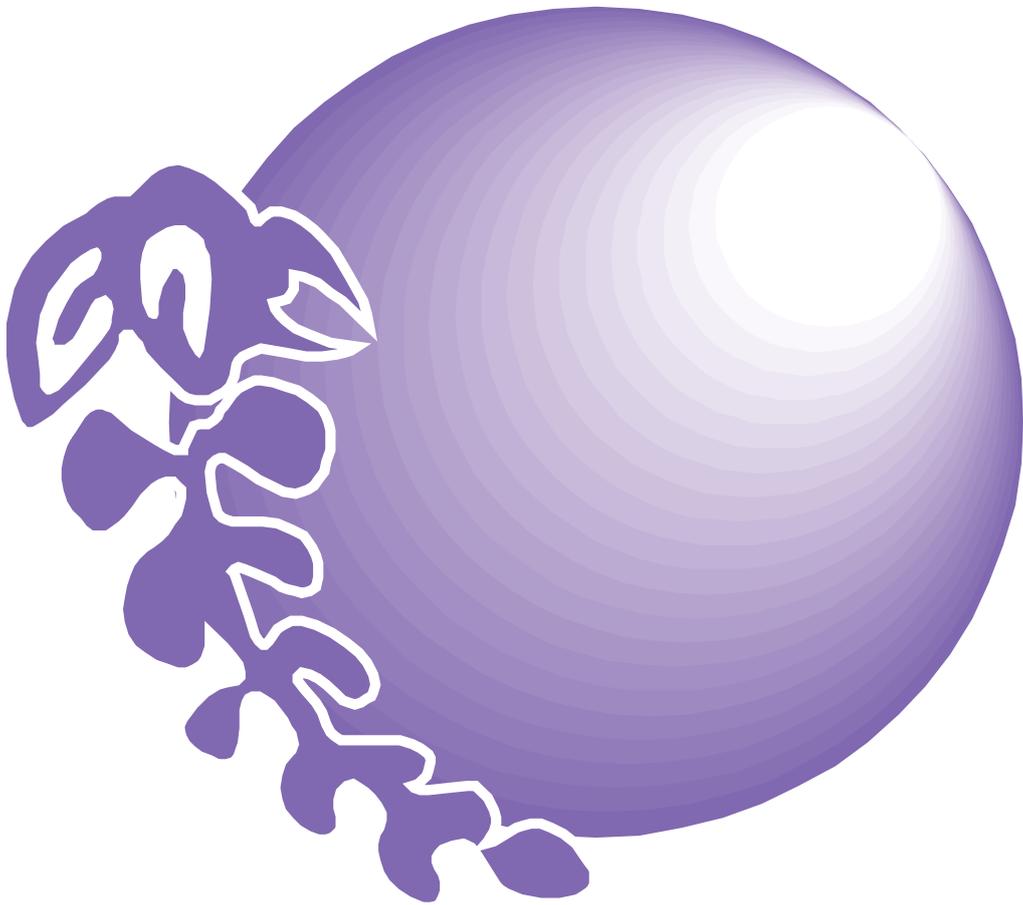


令和元年度

# 事業報告書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日)



学校法人 **高崎健康福祉大学**

## 令和元年度 事業報告書 目次

理事長挨拶	1
1 法人の概要	
1-1 建学の理念、教育方針、設立目的	2
1-2 設置する学校・学部・学科及び入学定員、学生数の状況	2
1-3 学園の沿革	3
1-4 役員・評議員・教職員の概要	5
1-5 学校法人組織機構図	8
2 事業の概要	
2-1 学部開設	9
2-2 入学試験の状況	9
2-3 卒業者数、終了者数	10
2-4 トピックス	10
3 財務の概要	
3-1 計算書類等	15
3-2 事業活動収支計算の推移	23
3-3 事業活動収支計算の推移のグラフ	24
3-4 事業活動収支計算の財務比率の推移	26
3-5 資金収支計算書	27
3-6 資金収支計算書 収入の部	27
3-7 資金収支計算書 支出の部	27
3-8 活動区分資金収支計算書	27
3-9 事業活動収支計算書	27
3-10 貸借対照表	28
3-11 監査報告書	29

## 理事長挨拶

学園理事長・学長 須藤賢一（農学博士）

### ■ 略歴

- ・北海道大学大学院農学研究科博士課程修了
- ・農林水産省森林総合研究所成分利用研究室室長
- ・ポストドクターとしてカナダ・サスカチュワン大学化学工学科で研究活動
- ・平成3年から群馬女子短期大学副学長として学園に赴任、以降同短期大学長、学園理事長として現在に至る
- ・群馬県私立大学協会会長
- ・ぐんま地域・大学連携協議会会長
- ・高崎市緊急創生会議委員長
- ・高崎映画祭運営委員長
- ・公益財団法人高崎財団理事



人のために、社会のために。どんな時代でも必要とされる「人間力」を養おう。

「Society5.0」の社会で、高崎健康福祉大学ができること。

人工知能やロボットの技術革新が、人々に豊かで便利な社会をもたらす「Society5.0」。すべての人とモノがつながり、さまざまな知識や情報が共有され、今までにない価値やサービスを生み出す。この新たな社会システムでは、就業形態も今とは大きく変化し、現在の職業のおよそ50%以上が消滅すると予想されています。しかし、高崎健康福祉大学がこれまで取り組んできた「食」、「医療」、「福祉」、「健康」、「教育」などの領域は、どんな時代でも私たちの生活に欠かせないもの。これから大学の門を叩く高校生のみなさんにはぜひ、これらの領域を新たな切り口で追究し、次世代の社会を支えていく人材になってほしいと思います。

「Society5.0」とは

狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く、新たな社会を指すもので、内閣府の「第5期科学技術基本計画」においてわが国が目指すべき未来社会の姿として提唱された。

未来志向の「農学」を実現し、日本の農業を世界に発信する。

そして、来たる「Society 5.0」の時代に向けて、高崎健康福祉大学は新たな一步を踏み出しました。そのひとつが、2019年に新設された農学部。最先端の科学技術やICTを積極的に取り入れ、今までにない「農学」を実現します。さらに、農産物の品種開発や流通・販売からブランディング、マーケティングに至るまで一貫した学びを展開。農産物の国際基準であるグローバルGAP認証(\*)の取得にも注力し、国際社会で通用する農業人材を育てます。ドローンやAIなどの最新技術を駆使して高品質な農産物を生み出し、自らの手で海外市場にアプローチしていく。地産地消の時代から脱却し、日本の農業の魅力を世界に発信することが、高崎健康福祉大学の農学部の使命なのです。

\* 食品安全、労働環境、環境保全に配慮した「持続的な生産活動」を実践する優良企業に与えられる、世界基準の農業認証

2019年4月、農学部棟が竣工

大小さまざまな講義室、各種実験施設、農産加工処理室を設置。隣接地には今後、「実習農場」も整備する。

新たな価値を生み出すために大切なのは「人間力」。

人工知能やロボットと人間が共生する時代は、すぐそこに迫っています。これからの社会で新たな価値を生み出すために私たちが養うべきもの。それは、人間にしか持ち得ない課題発見・解決能力やコミュニケーション能力です。一人ひとりが社会のため、人のために何ができるかを考え、実践する。Society5.0の社会で求められる「人間力」の本質は、ここにあります。そしてこれは、高崎健康福祉大学が開学以来掲げてきた「自利利他」(じりりた)の精神とも一致します。5学部8学科を擁する総合大学として、新たなスタートを切った高崎健康福祉大学。どんな時代においても、人のため、社会のために貢献できる「人間力」をここで身につけてください。

～高崎健康福祉大学HPより～

# 1 法人の概要

## 1-1 建学の理念、教育方針、設立目的

建学の理念: 人類の健康と福祉に貢献する

教育方針: 人の喜びを己の喜びとする「自利利他」の精神の涵養

設立目的:

大学は教育基本法および学校教育法に従い、健康と福祉にかかわる諸問題を情報処理、福祉、栄養、薬学、看護、理学療法及び子ども教育の観点から総合的に捉え、快適な人間生活の方策を攻究すると共に、健康を基調とした人間中心型の福祉社会の創造に貢献できる指導的な人材の養成を目的とする。

高校は教育基本法並びに学校教育法により中学校の教育の上に心身の発達に応じて、高等普通教育を施行することを目的とする。

幼稚園は学校教育法に従って幼児を保育し、適当なる環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。

## 1-2 設置する学校・学部・学科及び入学定員、学生数の状況

\*現員数は令和元年5月1日現在

学校名	学部・専攻・学科・課程	開設年度	入学定員 (人)	入学者数 (人)	編入学収容 定員(人)	編入学者数 (人)	収容定員 (人)	現員 (人)
高崎健康福祉大学 大学院	健康福祉学研究科(修士) 医療福祉情報学専攻	平成17年度	3	2	—	—	6	3
	保健福祉学専攻		3	4	—	—	6	5
	食品栄養学専攻		4	2	—	—	8	4
	健康福祉学研究科(博士) 保健福祉学専攻	平成19年度	3	2	—	—	9	15
	食品栄養学専攻		2	2	—	—	6	6
	薬学研究科(博士) 薬学専攻	平成24年度	3	1	—	—	12	5
	保健医療学研究科(修士) 看護学専攻	平成24年度	6	4	—	—	12	8
	理学療法学専攻		3	3	—	—	6	8
	計		27	20	—	—	65	54
高崎健康福祉大学	健康福祉学部 医療情報学科	平成13年度	70	85	3	0	281	309
	社会福祉学科		60	79	3	0	241	264
	健康栄養学科		80	90	—	—	320	338
	薬学部 薬学科	平成18年度	90	95	—	—	540	592
	保健医療学部 看護学科	平成18年度	100	111	—	—	400	430
	理学療法学科		40	49	—	—	160	181
	人間発達学部 子ども教育学科	平成24年度	80	95	3	0	323	358
	農学部 生物生産学科	令和元年度	100	99	—	—	100	99
	計		620	703	9	0	2,365	2,571
高崎健康福祉大学 高崎高等学校	普通科 全日制課程	昭和43年度	460	526	—	—	1,380	1,475
高崎健康福祉大学 附属幼稚園	—	昭和49年度	120	118	—	—	360	347

### 1-3 学園の沿革

昭和11年	2月10日	須藤和洋裁女学院を創立
昭和24年	2月21日	須藤和洋裁女学院を設立認可
昭和29年	12月18日	財団法人須藤学園を設立認可 須藤高等技芸学校と改称
昭和35年	2月20日	準学校法人須藤学園を設立認可
昭和41年	1月27日	学校法人須藤学園を設立認可
〃	〃	群馬女子短期大学家政科を設置認可、同年4月1日から開学
昭和42年	1月23日	群馬女子短期大学国文科を設置認可、同年4月1日から開学
昭和43年	1月17日	群馬女子短期大学附属高等学校普通科「全日制課程」を設置認可、同年4月1日から開校
昭和44年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科・国文学科と改称
昭和45年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科を家政専攻(40人)・食物栄養専攻(40人)に専攻分離
昭和46年	4月3日	学校法人群馬女子学園と改称
昭和49年	2月27日	群馬女子短期大学附属幼稚園を設置認可、同年4月1日から開園
昭和63年	12月22日	群馬女子短期大学経営情報学科を設置認可、平成元年4月1日から開学
平成2年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科を生活学科に、家政専攻を生活教養専攻と改称
平成11年	12月22日	群馬女子短期大学国文学科を日本語コミュニケーション学科に、経営情報学科を情報文化学科に設置認可、平成12年4月1日から開学
平成12年	12月21日	高崎健康福祉大学健康福祉学部健康情報学科、保健福祉学科、健康栄養学科設置認可、平成13年4月1日から開学
平成13年	4月1日	学校法人高崎健康福祉大学、高崎健康福祉大学短期大学部、高崎健康福祉大学高崎高等学校、高崎健康福祉大学附属幼稚園と改称
平成13年	8月1日	高崎健康福祉大学短期大学部生活学科児童福祉専攻(80人)設置認可、平成14年4月1日から開学
平成13年	10月30日	高崎健康福祉大学短期大学部国文学科及び経営情報学科廃止認可
平成14年	12月19日	高崎健康福祉大学短期大学部看護学科を設置認可、平成15年4月1日から開学
平成16年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部日本語コミュニケーション学科を廃止
平成16年	4月1日	高崎健康福祉大学健康情報学科を医療福祉情報学科に改称し入学定員を70名に、健康栄養学科の入学定員を80名に、高崎健康福祉大学短期大学部生活学科生活教養専攻並びに児童福祉専攻を改組し、生活学科と児童福祉学科を設置
平成16年	11月30日	高崎健康福祉大学大学院健康福祉学研究科設置認可、平成17年4月1日から開学
平成17年	12月5日	高崎健康福祉大学薬学部薬学科及び看護学部看護学科設置認可、平成18年4月1日から開学
平成18年	11月30日	高崎健康福祉大学大学院健康福祉学研究科(博士後期課程)設置認可、平成19年4月1日から開学
平成19年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部生活学科を廃止
平成19年	9月30日	高崎健康福祉大学短期大学部情報文化学科を廃止

平成21年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部看護学科を廃止
平成21年	4月1日	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療福祉情報学科を医療情報学科に保健福祉学科を社会福祉学科に改称
平成22年	4月1日	高崎健康福祉大学健康福祉学部社会福祉学科の入学定員を60名に、高崎健康福祉大学看護学部を保健医療学部に変更、高崎健康福祉大学保健医療学部理学療法学科を開学
平成23年	10月24日	高崎健康福祉大学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程、保健医療学研究科看護学専攻修士課程、高崎健康福祉大学人間発達学部子ども教育学科を設置認可、平成24年4月1日から開学
平成25年	7月4日	高崎健康福祉大学短期大学部児童福祉学科廃止認可
平成26年	3月27日	収益事業(医療・福祉)を開始することに対し認可、平成26年10月20日から高崎健康福祉大学附属クリニック開院
平成26年	4月1日	高崎健康福祉大学大学院保健医療学研究科看護学専攻に助産学分野を開設
平成27年	4月1日	高崎健康福祉大学訪問看護ステーション、女性・妊産婦ケアステーションを開設
平成27年	7月	高崎健康福祉大学看護実践開発センター開設
平成30年	4月1日	高崎健康福祉大学大学院保健医療学研究科理学療法学専攻修士課程を開学
平成30年	8月31日	高崎健康福祉大学農学部生物生産学科を設置認可、平成31年4月1日開学



・評議員(任期4年) 定数 23~30人 常勤 14人  
 非常勤 12人  
 合計 26人

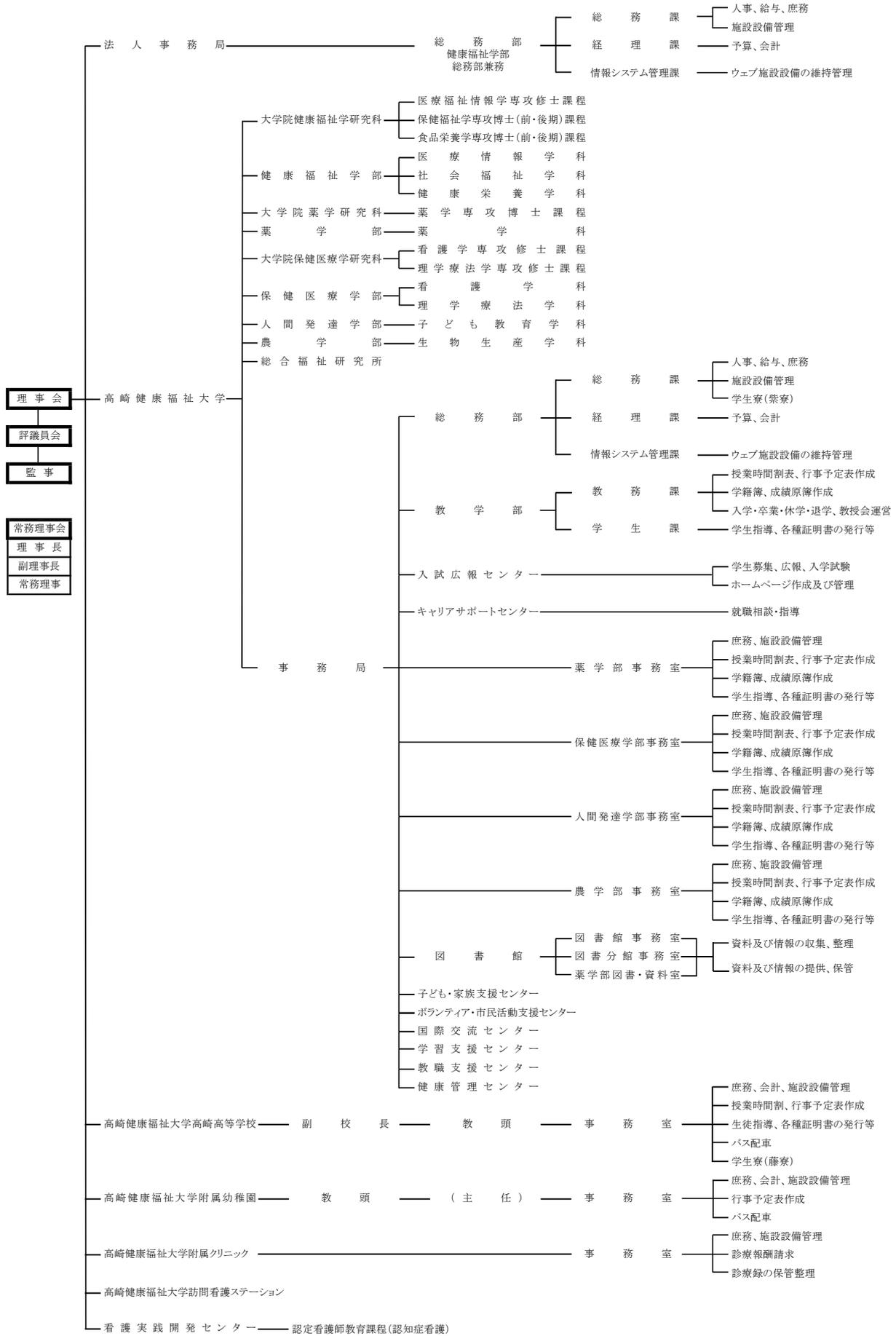
氏名	常勤・非常勤の別	選任区分等		就任年月日 (重任年月日)
		項又は号	選任区分	
須藤 賢一	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H2.2.6 (H30.4.1)
磯貝 昭夫	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H10.3.30 (H30.4.1)
須藤 領久	常勤	1	法人職員 (評議員会選任)	H18.4.1 (H30.4.1)
宮田 正枝	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	S52.12.12 (H30.4.1)
須藤 邦彦	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H30.4.1 ( )
加藤 陽彦	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H21.5.28 (H30.4.1)
井出 紘和	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H26.4.1 (H30.4.1)
加藤 和喜	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H29.2.16 (H30.4.1)
長谷川 孝	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H14.12.1 (H30.4.1)
佐藤みつ江	非常勤	2	卒業生 (理事会選任)	H2.4.1 (H30.4.1)
檜野加寿美	非常勤	2	卒業生 (理事会選任)	H14.4.1 (H30.4.1)
松本 信利	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H10.4.1 (H30.4.1)
倉持 純晃	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H30.4.1 ( )
遠藤 直行	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R1.5.17 ( )
田子真理子	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R1.5.17 ( )
林 正弘	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H24.4.1 (H30.4.1)
中村 博生	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R1.5.17 ( )
大政 謙次	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R1.5.17 ( )
内田 幸子	常勤	2	卒業生 (理事会選任)	H30.4.1 ( )
町田 修三	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H18.4.1 (H30.4.1)
澁澤 直子	常勤	1	法人職員 (評議員会選任)	H27.5.22 (H30.4.1)
小林恵美子	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H30.4.1 ( )
鈴木 仁史	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H30.4.1 ( )
関 正芳	常勤	1	法人職員 (評議員会選任)	H25.5.24 (H30.4.1)
島 千恵子	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R1.5.17 ( )
土屋千重子	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H30.4.1 ( )

・教職員

\*令和元年5月1日現在

学校	学部等	本務教員	非常勤教員	本務職員	兼務職員	合計
	法人	0	0	3	5	8
大学	健康福祉学部	62	48	50	37	197
	薬学部	39	3	8	13	63
	保健医療学部	64	65	10	19	158
	人間発達学部	28	14	5	8	55
	農学部	16	10	2	1	29
	小計	209	140	75	78	502
	高等学校	80	8	13	7	108
	幼稚園	23	12	1	3	39
	合計	312	160	92	93	657

1-5 学校法人組織機構図



## 2 事業の概要

### 2-1 学部開設

平成31年4月開学

○平成31年4月、「生命科学コース」、「作物園芸システムコース」、「フードサイエンスコース」、「アグリビジネスコース」の4つの専門コースを設けた農学部生物生産学科を開設しました。

生命の基礎を学び、食料・食品の生産、開発、流通・販売、ブランディング、マーケティングに至る一連のサイクルを学ぶカリキュラムを用意しており、2学年後期から段階的にコースに分かれ、それぞれの専門性を磨いていきます。

コースを越えた横断的な科目選択も可能で、農学の知識・技能を幅広く学ぶことができます。

### 2-2 入学試験の状況(令和2年4月入学対象)

学校	学部	学科	区分	AO	推薦	一般	特別	合計
大学	健康福祉	医療情報	志願者	8	60	261	0	329
			受験者	8	60	258	0	326
			合格者	6	60	41	0	107
			倍率	1.3	1.0	6.3	-	3.0
		入学者	<b>6</b>	<b>60</b>	<b>13</b>	<b>0</b>	<b>79</b>	
		社会福祉	志願者	18	67	282	1	368
			受験者	16	67	280	1	364
			合格者	8	67	32	0	107
			倍率	2.0	1.0	8.8	-	3.4
		入学者	<b>8</b>	<b>67</b>	<b>8</b>	<b>0</b>	<b>83</b>	
		健康栄養	志願者	18	61	345	1	425
			受験者	18	61	336	1	416
	合格者		3	48	79	0	130	
	倍率		6.0	1.3	4.3	-	3.2	
	入学者	<b>3</b>	<b>48</b>	<b>27</b>	<b>0</b>	<b>78</b>		
	薬	薬	志願者	16	65	432	1	514
			受験者	16	65	413	1	495
			合格者	4	45	147	1	197
			倍率	4.0	1.4	2.8	-	2.5
	入学者	<b>4</b>	<b>45</b>	<b>41</b>	<b>1</b>	<b>91</b>		
	保健医療	看護	志願者	17	61	571	0	649
			受験者	17	61	558	0	636
			合格者	3	40	190	0	233
			倍率	5.7	1.5	2.9	-	2.7
		入学者	<b>3</b>	<b>40</b>	<b>60</b>	<b>0</b>	<b>103</b>	
		理学療法	志願者	20	40	305	0	365
			受験者	19	40	298	0	357
			合格者	2	21	58	0	81
	倍率		9.5	1.9	5.1	-	4.4	
	入学者	<b>2</b>	<b>21</b>	<b>23</b>	<b>0</b>	<b>46</b>		
	人間発達	子ども教育	志願者	13	66	331	0	410
			受験者	13	66	325	0	404
合格者			4	59	102	0	165	
倍率			3.3	1.1	3.2	-	2.4	
入学者	<b>4</b>	<b>59</b>	<b>26</b>	<b>0</b>	<b>89</b>			
農	生物生産	志願者	20	27	337	0	384	
		受験者	20	27	330	0	377	
		合格者	13	27	210	0	250	
		倍率	1.5	1.0	1.6	-	1.5	
入学者	<b>13</b>	<b>27</b>	<b>56</b>	<b>0</b>	<b>96</b>			
合計	志願者	130	447	2864	3	3444		
	受験者	127	447	2798	3	3375		
	合格者	43	367	859	1	1270		
	倍率	3.0	1.2	3.3	3.0	2.7		
	入学者	<b>43</b>	<b>367</b>	<b>254</b>	<b>1</b>	<b>665</b>		
学校	区分	推薦	学特 I	学特 II	一般	合計		
高等学校	志願者	405	1,275	1,350	6	3,036		
	受験者	404	1,270	940	6	2,620		
	合格者	388	1,128	815	2	2,333		
	倍率	1.0	1.1	1.2	3.0	1.1		
入学者	<b>388</b>	<b>87</b>	<b>6</b>	<b>2</b>	<b>483</b>			

## 2-3 卒業生数、修了者数(令和元年度)

学校	学部・研究科	学科・専攻	卒業生数
大学院	健康福祉学研究科	保健福祉学専攻 博士後期課程	2
		食品栄養学専攻 博士後期課程	3
		保健福祉学専攻 博士前期課程	1
		食品栄養学専攻 博士前期課程	2
	保健医療学研究科	看護学専攻 修士課程	3
		理学療法学専攻 修士課程	3
大学	健康福祉学部	医療情報学科	58
		社会福祉学科	57
		健康栄養学科	80
	薬学部	薬学科	71
	保健医療学部	看護学科	104
		理学療法学科	47
	人間発達学部	子ども教育学科	94
	高等学校		
幼稚園			114

## 2-4 トピックス

○令和2年3月卒業生の就職内定率

キャリアサポートセンターでは、各学科の就職活動スケジュールに合わせて、就職講座、SPI対策講座、公務員試験対策講座、キャリアカウンセラーによる履歴書の添削や模擬面接の実施、小論文対策など実践に即した指導を行っております。また、「求人情報検索システム」を活用して、学生は求人情報及び求人票をパソコンや携帯電話から検索・閲覧できるようになっています。さらにセンターに求人情報が入ると、随時学科別に情報を配信しています。

各学部の就職率は表1～4のとおり、健康福祉学部100.0%、保健医療学部99.3%、薬学部100.0%、人間発達学部100%となっています。

今後も、アドバイザーの教員や各学科のキャリアサポート委員との連携を密にして、学生の就職を支援してまいります。

表1 健康福祉学部就職内定率

健康福祉学部	医療情報	社会福祉	健康栄養	合計
卒業生	58名	57名	80名	195名
大学院等進学	0名	0名	2名	2名
就職希望者	57名	55名	78名	190名
就職者数	57名	55名	78名	190名
内定率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2 保健医療学部就職内定率

保健医療学部	看護学科	理学療法学科	合計
卒業生	104名	47名	151名
大学院等進学	6名	0名	6名
就職希望者	98名	47名	145名
就職者数	97名	47名	144名
内定率	99.0%	100.0%	99.3%

表3 薬学部就職内定率

薬学部	薬学部	合計
卒業生	71名	71名
大学院等進学	1名	1名
就職希望者	67名	67名
就職者数	67名	67名
内定率	100.0%	100.0%

表4 人間発達学部就職内定率

人間発達学部	人間発達学部	合計
卒業生	94名	94名
大学院等進学	3名	3名
就職希望者	89名	89名
就職者数	89名	89名
内定率	100.0%	100.0%

○国試等の合格者数・合格率

令和元年度卒業生・在学生の国試等の合格者(合格率)は以下の通りです。

表5 国試等の合格者数・合格率

学科	試験	受験者	合格者	合格率
医療情報	診療情報管理士認定試験	28名	27名	96.4%
社会福祉	社会福祉士国家試験	48名	41名	85.4%
	精神保健福祉士国家試験	11名	11名	100.0%
	介護福祉士国家試験	13名	12名	92.3%
健康栄養	管理栄養士国家試験	79名	78名	98.7%
	NR・サプリメントアドバイザー認定試験	38名	37名	97.4%
薬	薬剤師国家試験	71名	68名	95.8%
看護	看護師国家試験	104名	104名	100.0%
	保健師国家試験	19名	19名	100.0%
理学療法	理学療法士国家試験	47名	46名	97.9%
大学院・看護学専攻	助産師国家試験	2名	2名	100.0%
人間発達学部	教員採用試験 小学校教諭(公立)	17名	11名	64.7%
	教員採用試験 中学校教諭(公立)	3名	2名	66.7%
	教員採用試験 特別支援学校(公立)	7名	6名	85.7%
	公務員(保育職)	-	5名	

## ○その他の事業

・新しいことにチャレンジしてみたい、自分自身を変えてみたい、新しい友達を作ってみたい、健大を元気にしたい等を副題にして7月から8月上旬にかけて学生リーダー育成プログラムの第1期生を募集し、1年生を中心に各学科から38名の応募がありました。研修会は夏休み終盤の9月19日に開催され、33名が出席しました。外部業者の協力で自己の探究を実施いたしました。まずは自己分析のアンケートを回答し、その後、5～6名のグループに分かれて課題に取り組み、最後は代表者による発表まで行いました。参加した学生は当日まで全く話したことが無いもの同士グループワークで最初はかなり緊張している空気が張り詰めておりましたが、最後の発表では、雰囲気も一転しており、連絡先を交換しているグループも見られました。9時から18時までの長丁場でしたが、学生が得られたものは大きかったと思います。受講前と受講後のアンケートの回答もわずか1日でありながら、学生の変化が見られました。その後、2月のアパート幹旋会では数人の学生がお手伝いに参加し、先輩として、高校生や保護者からの質問に答えておりました。今後は様々な取り組みを参加者が主体的に企画・実施していく予定です。

・学術協定が交わされている海外の教育機関とは、令和元年度も双方間の短期研修が行われ(派遣55名、受入22名)、参加学生は各国の文化・歴史・教育に触れると共に専攻分野に関わる知識を深めました。また、双方の学生交流を通し、コミュニケーションスキルの向上と国際的視野を広げる貴重な機会を得ました。春に実施予定であった2派遣プログラム(33名)、3受入プログラム(28名)が、新型コロナウイルスの影響により中止になったことは大変残念ですが、研修再開に向けて準備を進めて参ります。

◎ オーストラリア シドニー大学英語教育センター(全学科)

派遣:R1年8月30日～9月15日(16名)

◎ ドイツ ライン幼稚園(子ども教育学科)

派遣:R1年9月4日～14日(9名)

◎ フィンランド ヤムク大学(全学科)

派遣:R1年9月7日～17日(13名) 受入:中止

◎ ドイツ フレゼニウス大学(理学療法学科)

派遣:R1年9月10日～21日(4名) 受入:中止

◎ ドイツ フランクフルト応用科学大学(全学科)

派遣:R2年2月8日～18日(12名) 受入:中止

◎ ベトナム ホーチミン医科薬科大学(全学科)

派遣:中止 受入:R1年10月20日～26日(17名)

◎ タイ タマサート大学(看護学科)

派遣:中止 受入:R1年10月20日～26日(5名)

その他、個人留学として、薬学部より1名がぐんま赤尾奨学財団の大学生海外留学奨学金を得て30日間のカナダ留学を行いました。

学内で恒例となったグローバルカフェ(外国人ゲストとのフリートーク)には年間延べ144名が参加し、英語でのコミュニケーション力アップや情報交換の場として学生に親しまれています。また、新たな試みとして健大高崎の高校生(希望者)を対象としたグローバルカフェを新規に開始しました。

さらに、オープンキャンパス参加や大学祭出店を通して、高校生や地域に住む学内外の多くの方々に高崎健康福祉大学の国際交流活動について知って頂くことができました。

今後より充実した国際交流活動を目指し、質の高い魅力的なプログラムを考えていきたいと思っております。

・高大連携事業も11年目となり、令和元年度は系列の高崎健康福祉大学高崎高等学校の生徒を対象として、以下のとおり、特別プログラムを7事業実施いたしました。138名の生徒が参加し、それぞれ高校生の学びの一助となり、大変好評でした。

本学の高大連携事業は、系列高校とのつながりを強くしてきただけでなく、高校生にとって大学進学という大切な進路選択に対し、ミスマッチを防ぐ役割をしてきました。参加した生徒は本学入学前に希望する学科や隣接する学問領域の学科の取組に参加しており、十分な理解を持って入学しております。また、当該事業に参加した生徒が本学へ進学し、その後後輩との高大連携事業にリーダーとして参加するなど大変良いつながりができております。

また、令和元年度は新たに公開授業を群馬県民の日(10/28)に実施いたしました。参加者数は6名と少なかったですが、今後近隣の高校への働きかけも検討・準備してまいります。

◎医療情報学科(講義)「病院のことを知って適切な進路選択を行う」

◎社会福祉学科(講義・演習)「子どもの貧困」「精神保健」

◎健康栄養学科(体験実習)「人の身体のしくみを知る」

◎薬学科(講義・体験実習等)「痛みを感じるってどういうこと?」「薬剤師として患者さんの体の状態を確認してみよう」・模擬薬局調剤体験等

◎看護学科(講義・演習)「看護職になる道と多様な活躍の場」「高齢者体験を通して、高齢者と日頃の関わり方や支援について考える」「在校生との交流会」

◎理学療法学科(病院見学)「藤岡総合病院見学」

◎子ども教育学科(講義・演習)「異文化としての幼児絵画」「『運動神経がない』って本当?」「子ども向け番組を分析する」

- ・ボランティア・市民活動支援センターの活動実績は下記のとおりです。
  - ◎VSCがコーディネートをを行い、249団体からの依頼に対して、延べ1,154名の学生がボランティア活動に参加しました。
  - ◎農学部が設置されたことを受け、高崎市内の梨園に協力いただき、援農ボランティア体験を実施しました。
  - ◎群馬県立小児医療センターと協力し、入院している子どもたちとの「遊びの会」を月1回のペースで実施しました。今年度、事前研修を終了した登録学生は8人、合計登録学生は29人となりました。
  - ◎災害復興支援ボランティア「わたりば」のリーダーを中心に、令和元年台風19号災害支援募金活動を実施しました。学内で2週間、1日に1～2学部のエントランスで実施し、協力学生は延べ46人、募金合計60,248円となり、中央共同募金会「台風19号災害に伴うボランティア・NPOサポート募金」に寄付しました。
  - ◎毎年10月に行う赤い羽根共同募金の学内募金では、学生サポーター述べ65名が学生に募金を呼びかけ、5日間で37,093円を集め、群馬県共同募金会高崎市支会に届けました。
  - ◎企業とコラボして、ベルマーク運動を展開しています。平成26年度後期からスタートして、平成28年度に学生グループ「べるふぁみ」が立ち上がり、そのメンバーが回収ボックスの設置や回収を行っています。令和元年度に集まったベルマーク合計点数は8,442.3点でした。企業を通じて、被災地域の学校支援に役立てています。
  - ◎学生スタッフ主催「ボラトーク」は「ボラカフェ」に替わりました。ボランティア活動に取り組んでいる学内の部活・サークル・ボランティア活動を目的としている団体のメンバーが、新入生を中心とした参加希望学生に説明をするという交流の場を提供しました。
  - ◎学生スタッフ交流の場として、中之条町から依頼を受けたスポーツイベントのサポートに1泊2日で参加し、ボランティア活動とVSCスタッフの交流を同時に行うことができました。
  - ◎学生スタッフ企画活動として、「夏休みの思い出を作ろう」イベント、地域の子ども会から依頼を受けた「クリスマス会レクリエーション」などを行いました。どちらも学生スタッフがリーダーとなり、スタッフ以外の学生も参加して楽しい活動ができました。
  - ◎学内の学生サークルには、サークルの特性(和太鼓や吹奏楽、アカペラなど)を活かした活動ができるよう、活動先を紹介し、実践に結び付けました。また、イベント企画などによっては、教員と授業履修学生の協力により実現できたケースもありました。
  - ◎第10回高崎市NPO・ボランティアフェスティバル(高崎市主催)に、VSCとして学生スタッフとともに初参加しました。高崎市内のさまざまな活動団体と交流を図ることができました。
  - ◎外部からのVSC評価の一環として、「外部アドバイザー」を委嘱し、初回会議を開催しました。
  - ◎高崎市内3大学(健大・高商大・高経大)の地域貢献担当者による情報交換会を本学が呼びかけて開催し、令和元年度は会議を持ち回りで4回実施することができました。
- ・薬学部の寺田勝英教授が2019年度日本薬剤学会優秀論文賞を受賞しました。  
Time-dependent phase separation of amorphous solid dispersions: Implications for accelerated stability studies.  
Kosaku Kawakami, Ying Bi, Yasuo Yoshihashi, Kiyohiko Sugano and Katsuhide Terada  
Journal of Drug Delivery Science and Technology, 46,197-206(2018).
- ・薬学部の荻原琢男教授がシマダヤ株式会社と食後の血糖値上昇を緩やかにするチルド麺を共同開発しました。
- ・薬学部4年小川理紗さんが、公益財団法人ぐんま赤尾奨学財団より大学生海外留学奨学金の給付を受け、カナダに研修留学に行きました。
- ・2019年7月28日～7月31日の国際学会12th International ISSX Meetingに参加するにあたり、大学院薬学研究所4年の上岡宏規さんが日本薬物動態学会より、若手研究者海外発表支援事業のトラベルグラントを受賞しました。(2019年5月29日)
- ・2019年12月9日～12日の日本薬物動態学会34回年会つくばにおいて、大学院薬学研究所4年の上岡宏規さんが、学生・若手企業研究者シンポジウム(PRIS2019)のオーガナイザーを務めました。
- ・人間発達学部子ども教育学科では、令和元年10月26日(土)に、「子どもの貧困に立ち向かう！2 一切れ目ない支援・隙間のない支援をめざして」と題した公開講座を実施しました。今回の公開講座では、沖縄の取り組みの実際を知ることから、群馬県内で今後どのような施策、取り組み、システムが必要かなど、課題と方向性について考えることができました。
- ・人間発達学部子ども教育学科生活力向上委員会は、令和2年2月7日(金)に日航ジャンボ機御巢鷹山墜落事故の遺族で作る「8・12連絡会」事務局長の美谷島邦子氏をお迎えして、「いのちの授業」の講演会を開催しました。
- ・令和元年6月から7月に茨城県鹿嶋市で開催された、第11回アジアユースネットボール選手権大会に、矢内真理衣さん(子ども教育学科3年)が出場しました。

・令和元年度大学スケート部は創部10年という節目を迎えることができました。OBで大学職員(学生課)の新濱立也選手は前年度の勢いそのままにW杯では500mで3勝し種目別総合優勝を果たしました。世界距離別選手権500mでは銅メダル、世界選手権スプリント部門では日本男子33年ぶりの金メダルに輝き、まさに昇竜の勢いで進化を遂げております。

学生においては、小野寺優奈(医療情報学科4年)選手が前年度に続きW杯に出場しております。

第92回日本学生氷上選手権大会(インカレ)では女子がスピード部門総合5連覇を果たし、男子スピード部門では総合3位に輝きました。

個人のインカレ、第39回全日本学生スピードスケート選手権大会では白川諒(医療情報学科2年)と瀧上つくし(医療情報学科3年)が総合部門でアベック優勝を果たしました。

このようにスケート部は国際大会、国内大会で着実に成果を上げています。今後もオリンピックやW杯に一人でも多くの選手を輩出できることを期待します。

・令和元年9月2日付で、山本一太知事と須藤賢一学長との間で、農業振興及び6次産業化の推進に係る連携協定を締結しました。

・農学部棟の北側隣接地に、ドローンやICT、計測制御機器などを利用した水田、畑地、グリーンハウスからなる附属農場(スマート農場)を開設しました。

・令和元年11月20～22日に東京ビッグサイトで開催されたアグリビジネス創出フェア2019に出展し、農学部の紹介を行いました。

・令和2年2月8日に、「地域に根ざす健大農学部」と題し、令和元年度高崎健康福祉大学公開講座(ぐんま県民カレッジ連携講座)を開催しました。

・農学部の大政謙次学部長が、令和元年5月に、「植物機能リモートセンシングと空間情報解析に関する先駆的研究」で、日本農業工学会賞及び新農林社賞を受賞しました。

・農学部の清水庸教授及び大政謙次学部長が、令和元年5月に、学会活動(出版事業)への貢献に対して、農業情報学会特別貢献賞を受賞しました。

・農学部の橋田庸一助教授が、令和元年9月に開催された日本作物学会第248回講演会において、「イネの野外トランスクリプトームの特徴と制御要因の解明」で優秀発表賞を受賞しました。

・農学部の辻聡助教授が、令和元年10月開催された第88回醤油研究発表会において、「培養法による醤油諸味中のヒスタミン生成Tetragenococcus halophilusの判別」で日本醤油技術賞(応用の部)を受賞しました。

・5月に行われた第54回群馬県高校総体では、34年連続で入場行進優秀校に選ばれ、関東大会に9クラブが出場、インターハイには、男女のソフトテニス部・剣道部・体操競技部・柔道部が出場しました。男子サッカー部は、全国高等学校サッカー選手権大会の群馬県予選で初の決勝戦進出を果たしました。今後の活躍が期待されます。

硬式野球部は、第92回選抜高校野球大会に関東地区の一般代表校として推薦されました。選抜大会には3年ぶり4回目の出場となり甲子園には春夏通算7回目の出場です。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響のため、春の選抜大会と夏の甲子園大会、出場権を懸けた地方大会も中止となりました。選抜大会と春夏連続での中止は、戦争での中断を除き、史上初めてのことで、他の競技の春の選抜大会・夏の甲子園大会と同時期に予定されていた全国高校総体も全て中止になったことも残念でなりません。

春の選抜大会には、ソフトボール部(4年連続15回目)と剣道部(8年連続23回目)・ソフトテニス部(5年ぶり23回目)・柔道部(6年ぶり2回目)が出場権を獲得していました。また、弓道部の藤原君は、地元開催の第38回全国高校弓道選抜大会・女子サッカー部は、第28回全国高校女子サッカー選手権(4年ぶり3回目)・スケートの藤原さんは、インターハイに出場しました。阿部君は、第75回国体冬季大会(八戸国体)ショートトラック少年男子500mで初の決勝進出を果たし自己新で4位と健闘しました。硬式野球部は、県予選3位で出場した第72回秋季関東地区大会の決勝で山梨学院(山梨1位)を3-0で破り、初優勝を飾りました。県勢としての優勝は40年ぶりの快挙でした。全国10地区の優勝校が争う明治神宮大会でも決勝に進出し中京大中京に惜しくも4-3で敗れたが大活躍でした。文化部では、吹奏楽部が県総文祭で最優秀賞を受賞し、全国総文祭に出場した。競技かるた部は、全国総文祭で第4位入賞と群馬県代表として活躍した。演劇・書道・写真・箏曲部等も積極的に取り組んでいます。

今後も本校は、質の高い真の「文武両道」を目指します。生徒たちは、この恵まれた学習環境の中で先輩方より受け継いだ伝統と校風を守り「感謝・奉仕・友愛」の校訓を大きな理想とし未来を切り開いていくであろうことを確信しております。現在、教員の働き方改革も踏まえ、部活動の在り方が大きく注目され、転換期を迎えています。これからの部活動指導は、より質の高い練習が求められ、指導者が自己の経験だけに頼るのではなく、科学的な根拠や選手の実態に応じた新たな指導方法を考える必要があると考えます。主人公である高校生たちが部活動を通して、心が豊かになり社会に通じる人間形成を養い、生徒たちが多くの感動や幸せを感じることができるようにこれからも支えていきたいと思っております。

・幼稚園では大学健康栄養学科や高校科学部と連携して、食育や科学あそびに取り組み保育内容の充実を図ると共に多様な関わりを通して子どもの人格形成の土台作りを行っています。

・地域内でも認定こども園に移行する施設が増加する中、健大附属幼稚園は従前通りの幼稚園として建学の精神を守りながら、幼児教育を実践していきます。

3-1 計算書類等

資金収支計算書

平成31年 4月 1日から  
令和 2年 3月31日まで

(単位 : 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	4,478,880,000	4,485,054,655	△ 6,174,655
手数料収入	93,490,000	95,664,520	△ 2,174,520
寄付金収入	44,110,000	49,694,000	△ 5,584,000
補助金収入	1,028,520,000	1,033,396,030	△ 4,876,030
国庫補助金収入	453,800,000	448,694,000	5,106,000
県補助金収入	568,600,000	578,560,000	△ 9,960,000
市町村補助金収入	6,280,000	6,431,053	△ 151,053
資産売却収入	33,730,000	33,739,254	△ 9,254
付随事業・収益事業収入	278,230,000	291,067,649	△ 12,837,649
受取利息・配当金収入	53,330,000	55,379,659	△ 2,049,659
雑収入	166,160,000	218,011,852	△ 51,851,852
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	740,000,000	683,865,000	56,135,000
その他の収入	195,450,000	212,932,681	△ 17,482,681
資金収入調整勘定	△ 780,000,000	△ 834,162,117	54,162,117
前年度繰越支払資金	2,122,700,000	2,122,699,658	
収入の部 合計	8,454,600,000	8,447,342,841	7,257,159
支出の部			
人件費支出	3,373,770,000	3,409,812,868	△ 36,042,868
教育研究経費支出	1,568,350,000	1,519,753,592	48,596,408
管理経費支出	388,850,000	400,882,163	△ 12,032,163
借入金等利息支出	80,000	73,396	6,604
借入金等返済支出	40,000,000	40,000,000	0
施設関係支出	29,450,000	29,065,373	384,627
設備関係支出	427,150,000	424,043,621	3,106,379
資産運用支出	252,960,000	250,588,197	2,371,803
その他の支出	159,750,000	155,766,249	3,983,751
(予備費)	(0) 20,000,000		20,000,000
資金支出調整勘定	△ 51,000,000	△ 105,665,664	54,665,664
次年度繰越支払資金	2,245,240,000	2,323,023,046	△ 77,783,046
支出の部 合計	8,454,600,000	8,447,342,841	7,257,159

資金収支内訳表

平成31年 4月 1日から  
令和 2年 3月31日まで

収入の部

(単位：円)

科目 \ 部門	学校法人	高崎健康福祉大学	健大高崎高等学校	附属幼稚園
学生生徒等納付金収入	0	3,770,595,395	572,854,780	141,604,480
手数料収入	50,100	68,663,520	26,720,900	230,000
寄付金収入	0	45,560,000	4,134,000	0
補助金収入	0	449,169,080	523,481,050	60,745,900
国庫補助金収入	0	448,694,000	0	0
県補助金収入	0	238,000	523,305,000	55,017,000
市町村補助金収入	0	237,080	176,050	5,728,900
資産売却収入	33,739,254	0	0	0
付随事業・収益事業収入	25,047,000	148,000,774	114,055,955	3,963,920
受取利息・配当金収入	55,379,659	0	0	0
雑収入	2,987,877	97,691,372	111,917,571	5,415,032
計	117,203,890	4,579,680,141	1,353,164,256	211,959,332

支出の部

(単位：円)

科目 \ 部門	学校法人	高崎健康福祉大学	健大高崎高等学校	附属幼稚園
人件費支出	39,775,822	2,489,952,038	769,453,223	110,631,785
教育研究経費支出	0	1,108,027,063	344,371,702	67,354,827
管理経費支出	42,431,534	277,760,086	71,934,308	8,756,235
借入金等利息支出	73,396	0	0	0
借入金等返済支出	40,000,000	0	0	0
施設関係支出	2,484,000	4,598,780	20,150,993	1,831,600
設備関係支出	1,860,624	372,038,229	46,391,556	3,753,212
計	126,625,376	4,252,376,196	1,252,301,782	192,327,659

人件費支出内訳表

平成31年 4月 1日から  
令和 2年 3月31日まで

(単位 : 円)

科目 \ 部門	学校法人	高崎健康福祉大学	健大高崎高等学校	附属幼稚園
教員人件費支出	0	1,900,854,791	596,781,030	102,033,435
本務教員	0	1,854,513,477	580,540,791	90,802,704
本俸	0	1,034,941,739	315,324,000	50,802,997
期末手当	0	386,874,400	120,713,300	18,627,200
その他の手当	0	155,807,023	53,182,138	7,737,206
所定福利費	0	276,890,315	91,321,353	13,635,301
兼務教員	0	46,341,314	16,240,239	11,230,731
職員人件費支出	38,935,822	542,218,667	71,937,241	7,355,990
本務職員	34,714,377	440,071,083	62,614,528	7,039,245
本俸	18,408,000	250,414,827	37,778,600	3,541,200
期末手当	8,554,000	79,157,100	9,892,200	1,559,800
その他の手当	5,434,680	44,131,219	5,459,301	806,712
所定福利費	2,317,697	66,367,937	9,484,427	1,131,533
兼務職員	4,221,445	102,147,584	9,322,713	316,745
役員報酬支出	840,000	0	0	0
退職金支出	0	46,878,580	100,734,952	1,242,360
教員	0	40,751,765	100,009,372	1,242,360
職員	0	6,126,815	725,580	0
合計	39,775,822	2,489,952,038	769,453,223	110,631,785

活動区分資金収支計算書

平成31年 4月 1日から  
令和 2年 3月31日まで

(単位 : 円)

		科目	金額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒納付金収入	4,485,054,655
		手数料収入	95,664,520
		特別寄付金収入	22,994,000
		一般寄付金収入	26,700,000
		経常費等補助金収入	1,033,396,030
		付随事業収入	291,067,649
		雑収入	218,011,852
		教育活動資金収入計	6,172,888,706
	支出	人件費支出	3,409,812,868
		教育研究経費支出	1,519,753,592
管理経費支出		400,882,163	
教育活動資金支出計		5,330,448,623	
	差引	842,440,083	
	調整勘定等	△ 41,400,675	
	教育活動資金収支差額	801,039,408	
施設設備活動による資金収支	科目		金額
	収入	施設整備等活動資金収入計	0
	支出	施設関係支出	29,065,373
		設備関係支出	424,043,621
		施設整備等活動資金支出計	453,108,994
		差引	△ 453,108,994
	調整勘定等	0	
	施設整備等活動資金収支差額	△ 453,108,994	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)			347,930,414
その他の活動による資金収支	科目		金額
	収入	有価証券売却収入	33,739,254
		仮受金受入収入	545,200
		預り金受入収入	66,847,196
		保険積立金回収収入	30,451,150
		立替金回収収入	55,421,431
		仮払金回収収入	514,755
		小計	187,518,986
		受取利息・配当金収入	55,379,659
		その他の活動資金収入計	242,898,645
	支出	借入金等返済支出	40,000,000
		有価証券購入支出	210,300,000
		保険積立金支払支出	40,288,197
		預り金支払支出	63,702,466
		立替金支払支出	35,736,872
		仮払金支払支出	402,932
		小計	390,430,467
借入金等利息支出		73,396	
その他の活動資金支出計	390,503,863		
	差引	△ 147,605,218	
	調整勘定等	△ 1,808	
	その他の活動資金収支差額	△ 147,607,026	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)			200,323,388
前年度繰越支払資金			2,122,699,658
翌年度繰越支払資金			2,323,023,046

事業活動収支計算書

平成31年 4月 1日から  
令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

		科目	予算	決算	差異
教育活動収支	教育活動収入の部	学生生徒納付金	4,478,880,000	4,485,054,655	△ 6,174,655
		手数料	93,490,000	95,664,520	△ 2,174,520
		寄付金	44,110,000	49,694,000	△ 5,584,000
		経常費等補助金	1,017,520,000	1,033,396,030	△ 15,876,030
		付随事業収入	278,230,000	291,067,649	△ 12,837,649
		雑収入	166,160,000	218,011,852	△ 51,851,852
		教育活動収入計	6,078,390,000	6,172,888,706	△ 94,498,706
	支教育の活動部	科目	予算	決算	差異
		人件費	3,373,770,000	3,409,812,868	△ 36,042,868
		教育研究経費	2,118,550,000	2,065,471,748	53,078,252
		管理経費	434,050,000	445,276,319	△ 11,226,319
	教育活動支出計	5,926,370,000	5,920,560,935	5,809,065	
	教育活動収支差額		152,020,000	252,327,771	△ 100,307,771
	教育活動外収支	取事業の活動部	科目	予算	決算
受取利息配当金			53,330,000	55,379,659	△ 2,049,659
教育活動外収入計		53,330,000	55,379,659	△ 2,049,659	
支事業の活動部		科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	80,000	73,396	6,604
教育活動外支出計		80,000	73,396	6,604	
教育活動外収支差額		53,250,000	55,306,263	△ 2,056,263	
経常収支差額		205,270,000	307,634,034	△ 102,364,034	
特別収支	取事業の活動部	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	1,300,000	1,339,605	△ 39,605
		その他の特別収入	13,300,000	15,605,347	△ 2,305,347
	特別収入計	14,600,000	16,944,952	△ 2,344,952	
	支事業の活動部	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	11,250,000	11,312,057	△ 62,057
	特別支出計	11,250,000	11,312,057	△ 62,057	
特別収支差額		3,350,000	5,632,895	△ 2,282,895	
予備費		(0) 20,000,000		20,000,000	
基本金組入前当年度収支差額		188,620,000	313,266,929	△ 124,646,929	
基本金組入額合計		△ 412,050,000	△ 419,815,548	7,765,548	
当年度収支差額		△ 223,430,000	△ 106,548,619	△ 116,881,381	
前年度繰越収支差額		△ 4,926,000,000	△ 4,926,035,995	35,995	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△ 5,149,430,000	△ 5,032,584,614	△ 116,845,386	

(参考)

事業活動収入計	6,146,320,000	6,245,213,317	△ 98,893,317
事業活動収出計	5,957,700,000	5,931,946,388	25,753,612

事業活動収支内訳表

平成31年 4月 1日から  
令和 2年 3月31日まで

(単位 : 円)

科目		部門	学校法人	高崎健康福祉大学	健大高崎高校	附属幼稚園	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒納付金	0	3,770,595,395	572,854,780	141,604,480	
		手数料	50,100	68,663,520	26,720,900	230,000	
		寄付金	0	45,560,000	4,134,000	0	
		経常費等補助金	0	449,169,080	523,481,050	60,745,900	
		付随事業収入	25,047,000	148,000,774	114,055,955	3,963,920	
		雑収入	2,987,877	97,691,372	111,917,571	5,415,032	
		教育活動収入計	28,084,977	4,579,680,141	1,353,164,256	211,959,332	
	事業活動支出の部	人件費	39,775,822	2,489,952,038	769,453,223	110,631,785	
		教育研究経費	0	1,522,129,720	460,908,915	82,433,113	
		管理経費	47,478,469	302,651,225	84,843,300	10,303,325	
		教育活動支出計	87,254,291	4,314,732,983	1,315,205,438	203,368,223	
	教育活動収支差額		△ 59,169,314	264,947,158	37,958,818	8,591,109	
	教育活動外収支	収入の活動	受取利息配当金	55,379,659	0	0	0
			教育活動外収入計	55,379,659	0	0	0
支出の活動		借入金等利息	73,396	0	0	0	
		教育活動外支出計	73,396	0	0	0	
教育活動外収支差額		55,306,263	0	0	0		
経常収支差額		△ 3,863,051	264,947,158	37,958,818	8,591,109		
特別収支	収入の活動	資産売却差額	1,339,605	0	0	0	
		その他の特別収入	0	15,505,469	99,878	0	
		特別収入計	1,339,605	15,505,469	99,878	0	
	支出の活動	資産処分差額	0	11,191,107	120,950	0	
		特別支出計	0	11,191,107	120,950	0	
特別収支差額		1,339,605	4,314,362	△ 21,072	0		
基本金組入前当年度収支差額		△ 2,523,446	269,261,520	37,937,746	8,591,109		
基本金組入額合計		△ 4,344,624	△ 344,453,185	△ 65,432,927	△ 5,584,812		
当年度収支差額		△ 6,868,070	△ 75,191,665	△ 27,495,181	3,006,297		
前年度繰越収支差額		△ 1,480,555,094	△ 1,186,020,771	△ 2,280,210,873	20,750,743		
翌年度繰越収支差額		△ 1,487,423,164	△ 1,261,212,436	△ 2,307,706,054	23,757,040		
(参考)							
事業活動収入計		84,804,241	4,595,185,610	1,353,264,134	211,959,332		
事業活動収支差額		87,327,687	4,325,924,090	1,315,326,388	203,368,223		

## 貸借対照表

令和 2年 3月31日まで

(単位 : 円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	14,990,100,238	14,935,072,868	55,027,370
有形固定資産	11,666,556,237	11,797,827,444	△ 131,271,207
特定資産	1,900,000,000	1,900,000,000	0
その他の固定資産	1,423,544,001	1,237,245,424	186,298,577
流動資産	2,473,997,041	2,244,076,981	229,920,060
資産の部 合計	17,464,097,279	17,179,149,849	284,947,430
負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	3,397,140	13,312,652	△ 9,915,512
流動負債	865,850,384	884,254,371	△ 18,403,987
負債の部 合計	869,247,524	897,567,023	△ 28,319,499
純 資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第1号基本金	21,183,434,369	20,763,618,821	419,815,548
第3号基本金	100,000,000	100,000,000	0
第4号基本金	344,000,000	344,000,000	0
繰越収支差額	△ 5,032,584,614	△ 4,926,035,995	△ 106,548,619
純資産の部 合計	16,594,849,755	16,281,582,826	313,266,929
負債及び純資産の部 合計	17,464,097,279	17,179,149,849	284,947,430

財 産 目 録

令和2年 3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	令和元年度末
[1] 資産総額	17,464,097,279
1、基本財産	11,666,556,237
(1) 土地	131,330.48㎡ 1,541,280,043
(2) 建物	66,141.99㎡ 7,691,540,427
(3) 構築物	359,859,946
(4) 図書	162,398冊 480,146,673
(5) 教具・校具、及び備品	28,442点 1,590,895,566
(6) その他(車両)	2,833,582
2、運用財産	5,797,541,042
(1) 預金、現金	2,323,023,046
(2) 積立金	2,462,832,714
(3) 有価証券	613,280,000
(4) 未収入金	104,096,417
(5) 立替金	35,736,872
(6) 前払金	5,437,774
(7) 仮払金	402,932
(8) 電話加入権	952,358
(9) 施設利用権	3,575,356
(10) 出資金	600,000
(11) 敷金	9,281,901
(12) ソフトウェア	5,777,565
(13) 収益事業元入金	211,344,107
(14) 長期貸付金	15,900,000
(15) 短期貸付金	5,300,000
[2] 負債総額	869,247,524
1、固定負債	3,397,140
(1) 長期借入金	0
(2) 長期未払金	3,397,140
2、流動負債	865,850,384
(1) 短期借入金	0
(2) 未払金	114,592,988
(3) 前受金	683,865,000
(4) 仮受金	545,200
(5) 預り金	66,847,196

### 3-2 事業活動収支計算の推移

(単位：円)

学 園	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収入	5,671,685,692	5,770,977,974	5,898,566,925	6,228,268,365
経常支出	5,086,962,562	5,156,915,609	5,440,493,326	5,920,634,331
人件費	2,923,383,261	3,042,490,661	3,165,353,256	3,409,812,868
教育研究経費	1,757,219,990	1,733,023,041	1,827,900,895	2,065,471,748
管理経費	405,386,410	380,729,007	446,867,425	445,276,319
その他	972,901	672,900	371,750	73,396

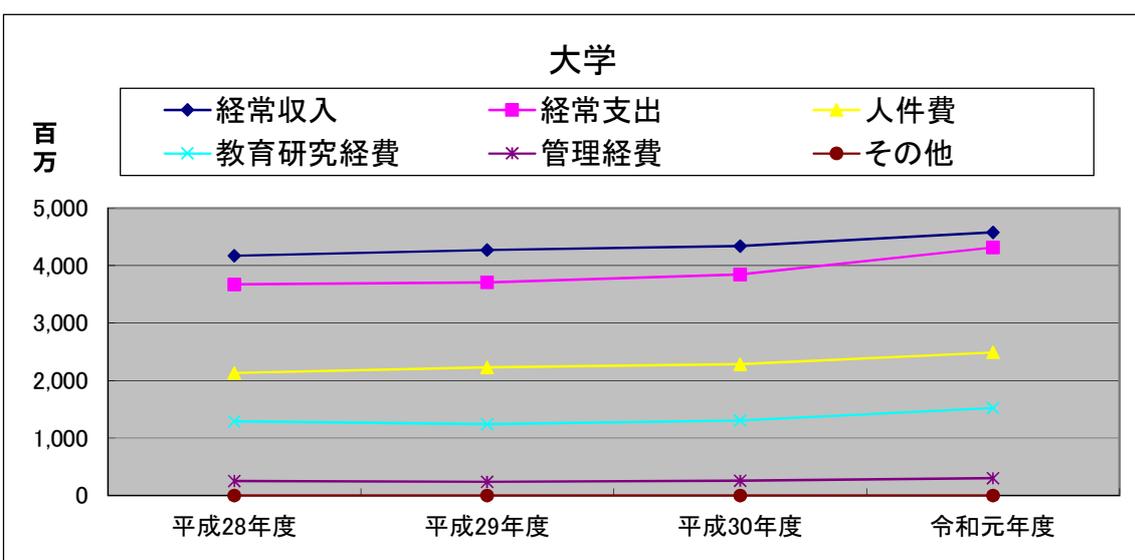
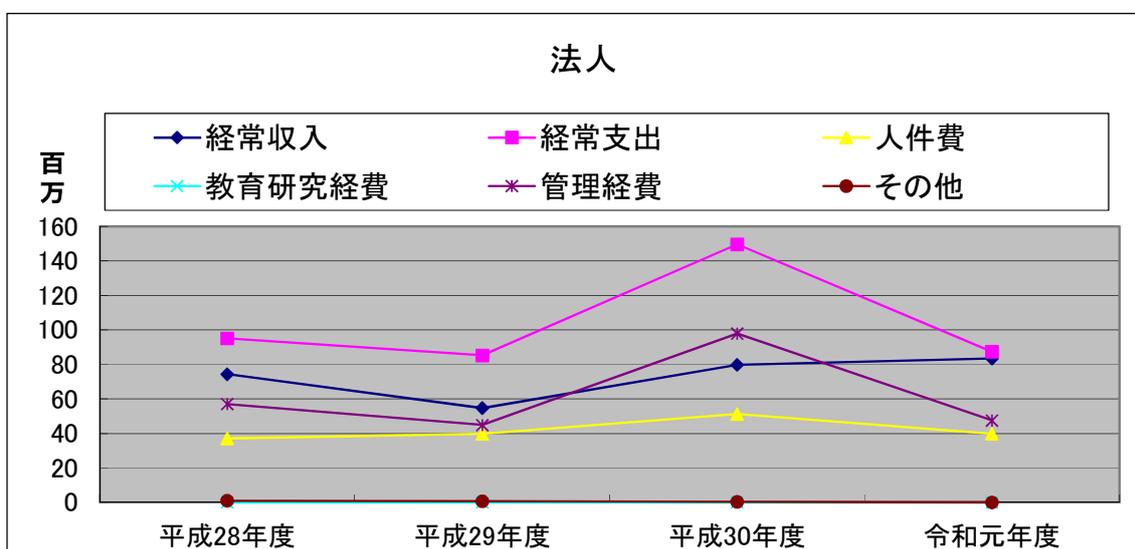
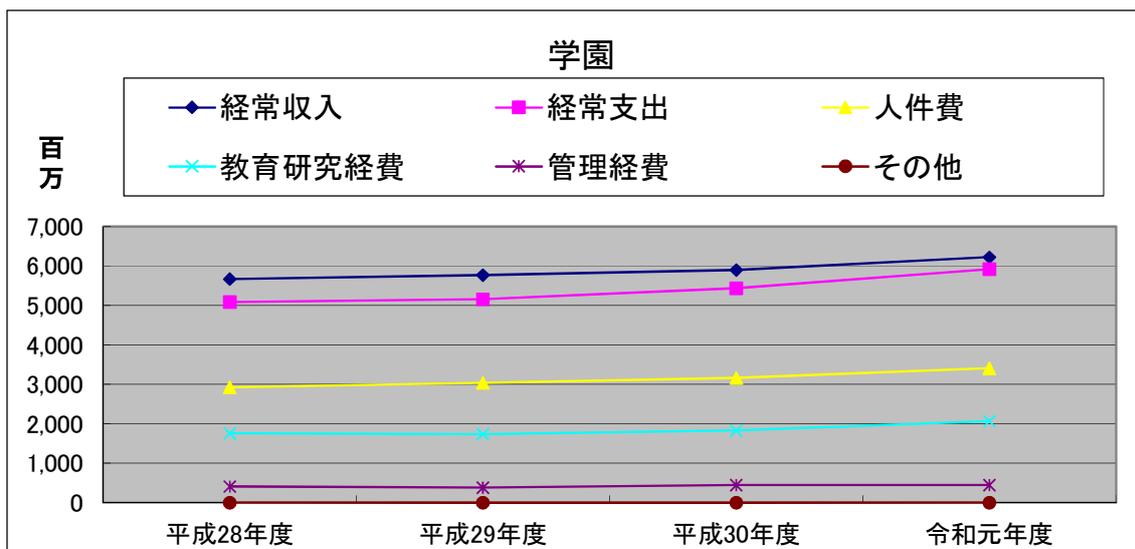
法 人	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収入	74,393,746	54,714,946	79,827,517	83,464,636
経常支出	95,108,336	85,288,407	149,636,542	87,327,687
人件費	37,117,161	39,673,592	51,305,283	39,775,822
教育研究経費	0	0	0	0
管理経費	57,018,274	44,941,915	97,959,509	47,478,469
その他	972,901	672,900	371,750	73,396

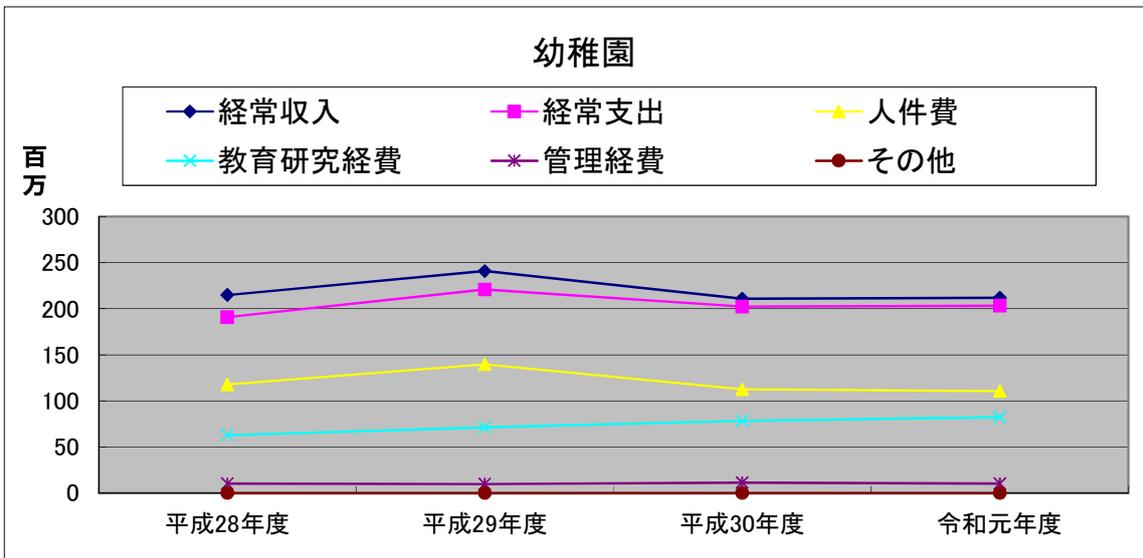
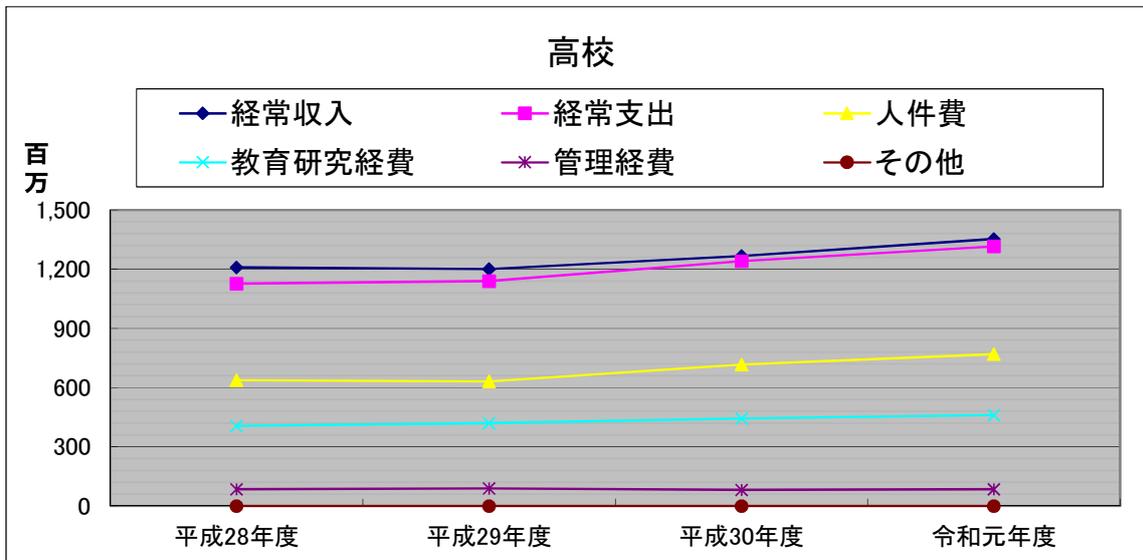
大 学	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収入	4,172,624,339	4,274,868,217	4,341,411,864	4,579,680,141
経常支出	3,673,819,448	3,710,654,149	3,847,665,768	4,314,732,983
人件費	2,131,606,189	2,231,948,220	2,284,686,138	2,489,952,038
教育研究経費	1,288,273,164	1,241,250,843	1,307,159,149	1,522,129,720
管理経費	253,940,095	237,455,086	255,820,481	302,651,225
その他	0	0	0	0

高 校	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収入	1,209,791,209	1,200,446,849	1,266,465,124	1,353,164,256
経常支出	1,127,067,210	1,140,039,926	1,240,806,940	1,315,205,438
人件費	636,892,247	631,119,225	716,804,045	769,453,223
教育研究経費	406,038,474	420,413,162	442,302,050	460,908,915
管理経費	84,136,489	88,507,539	81,700,845	84,843,300
その他	0	0	0	0

幼稚園	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収入	214,876,398	240,947,962	210,862,420	211,959,332
経常支出	190,967,568	220,933,127	202,384,076	203,368,223
人件費	117,767,664	139,749,624	112,557,790	110,631,785
教育研究経費	62,908,352	71,359,036	78,439,696	82,433,113
管理経費	10,291,552	9,824,467	11,386,590	10,303,325
その他	0	0	0	0

3-3 事業活動収支計算の推移のグラフ





### 3-4 事業活動収支計算の財務比率の推移

(%)

学園	算式	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人件費比率	人件費／經常収入	51.5	52.7	53.6	54.7
教育研究経費比率	教育研究経費／經常収入	30.9	30.0	30.9	33.1
管理経費比率	管理経費／經常収入	7.1	6.5	7.5	7.1
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入	4.1	8.9	7.7	5.0

法人	算式	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人件費比率	人件費／經常収入	49.8	72.5	64.2	47.6
教育研究経費比率	教育研究経費／經常収入	0.0	0.0	0.0	0.0
管理経費比率	管理経費／經常収入	76.6	82.1	122.7	56.8
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入	-481.3	-63.5	-91.2	-3.0

大学	算式	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人件費比率	人件費／經常収入	51.0	52.2	52.6	54.3
教育研究経費比率	教育研究経費／經常収入	30.8	29.0	30.1	33.2
管理経費比率	管理経費／經常収入	6.0	5.5	5.8	6.6
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入	11.8	11.0	11.4	5.9

高校	算式	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人件費比率	人件費／經常収入	52.6	52.5	56.5	56.8
教育研究経費比率	教育研究経費／經常収入	33.5	35.0	34.9	34.0
管理経費比率	管理経費／經常収入	6.9	7.3	6.4	6.2
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入	7.6	4.9	2.0	2.8

幼稚園	算式	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人件費比率	人件費／經常収入	54.8	57.9	53.3	52.1
教育研究経費比率	教育研究経費／經常収入	29.2	29.6	37.1	38.8
管理経費比率	管理経費／經常収入	4.7	4.0	5.4	4.8
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入	11.1	8.3	4.0	4.1

### 3-5 資金収支計算書

「資金収支計算書」は学校法人の当該会計年度の諸活動に対応する、すべての収入・支出の内容を明らかにするものであり、かつ支払い資金の収入・支出の顛末を明らかにするものであります。

#### 3-6 資金収支計算書 収入の部

学生生徒等納付金収入 予算4,478,880千円に対し決算4,485,054,655円で6,174,655円の増額、手数料収入 予算93,490千円に対し決算95,664,520円で2,174,520円の増額、寄付金収入 予算44,110千円に対し決算49,694,000円で5,584,000円の増額、補助金収入 予算1,028,520千円に対し決算1,033,396,030円で4,876,030円の増額、資産売却収入 予算33,730千円に対し決算33,739,254円で9,254円の増額、付随事業・収益事業収入は主に学生寮寮費及び学生駐車場の使用料、受託・共同研究費の収入、教員免許状更新講習料、高等学校学習支援センター利用料及び認定看護師教育課程入学試験の検定料であり、予算278,230千円に対し決算291,067,649円で12,837,649円の増額、受取利息・配当金収入 予算53,330千円に対し決算55,379,659円で2,049,659円の増額、雑収入 予算166,160千円に対し決算218,011,852円で51,851,852円の増額、前受金収入 予算740,000千円に対し決算683,865,000円で56,135,000円の減額、その他の収入 予算195,450千円に対し決算212,932,681円で17,482,681円の増額、資金収入調整勘定 予算△780,000千円に対し決算△834,162,117円で54,162,117円の減額、前年度繰越支払資金 予算2,122,700千円に対し決算2,122,699,658円となり、収入の部合計 予算8,454,600千円に対し決算8,447,342,841円で7,257,159円の減額となった。

#### 3-7 資金収支計算書 支出の部

人件費支出 予算3,373,770千円に対し決算3,409,812,868円で36,042,868円の増額、教育研究経費支出 予算1,568,350千円に対し決算1,519,753,592円で48,596,408円の減額、管理経費支出 予算388,850,000千円に対し決算400,882,163円で12,032,163円の増額、借入金等利息支出 予算80千円に対し決算73,396円で6,604円の減額、借入金等返済支出 予算40,000千円に対し決算40,000,000円で増減なし、施設関係支出 予算29,450千円に対し決算29,065,373円で384,627円の減額、尚この支出には、建物支出として高等学校理科教室改築費が、構築物支出として大学学生駐車場造成費が計上されている。設備関係支出 予算427,150千円に対し決算424,043,621円で3,106,379円の減額、資産運用支出 予算252,960千円に対し決算250,588,197円で2,371,803円の減額、その他の支出 予算159,750千円に対し決算155,766,249円で3,983,751円の減額、資金支出調整勘定 予算△51,000千円に対し決算△105,665,664円で54,665,664円の減額となり、次年度繰越支払資金 予算2,245,240千円に対し決算2,323,023,046円で77,783,046円の増額となり、支出の部合計 予算8,454,600千円に対し決算8,447,342,841円で7,257,159円の減額となった。

#### 3-8 活動区分資金収支計算書

教育活動による資金収支 教育活動資金収入計6,172,888,706円に対し教育活動資金支出計5,330,448,623円で差引842,440,083円に調整勘定等△41,400,675円を加算した結果、教育活動資金収支差額801,039,408円となった。

施設整備等活動による資金収支 施設整備等活動資金収入計0円に対し施設整備等活動資金支出計453,108,994円で差引△453,108,994円に調整勘定等0円を加算した結果、施設整備等活動資金収支差額△453,108,994円となり、小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)が347,930,414円となった。

その他の活動による資金収支 その他の活動資金収入計242,898,645円に対しその他の活動資金支出計390,503,863円で差引△147,605,218円に調整勘定等△1,808円を加算した結果、その他の活動資金収支差額△147,607,026円となった。

この結果、支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)200,323,388円を前年度繰越支払資金2,122,699,658円に加算し翌年度繰越支払資金2,323,023,046円となった。

#### 3-9 事業活動収支計算書

教育活動収支 教育活動収入計 予算6,078,390千円に対し決算6,172,888,706円で94,498,706円の増額、教育活動支出計 予算5,926,370千円に対し決算5,920,560,935円で5,809,065円の減額となり教育活動収支差額 予算152,020千円に対し決算252,327,771円で100,307,771円の増額となった。

教育活動外収支 教育活動外収入計 予算53,330千円に対し決算55,379,659円で2,049,659円の増額、教育活動外支出計 予算80千円に対し決算73,396円で6,604円の減額となり教育活動外収支差額 予算53,250千円に対し決算55,306,263円で2,056,263円の増額で、経常収支差額 予算205,270千円に対し決算307,634,034円で102,364,034円の増額となった。

特別収支 特別収入計 予算14,600千円に対し決算16,944,952円で2,344,952円の増額、特別支出計 予算11,250千円に対し決算11,312,057円で62,057円の増額となり特別収支差額 予算3,350千円に対し決算△5,632,895円で2,282,895円の増額となった。

基本金組入前当年度収支差額 予算188,620千円に対し決算313,266,929円で124,646,929円の増額、基本金組入額合計 予算△412,050千円に対し決算△419,815,548円で7,765,548円の減額となり、当年度収支差額 予算△223,430千円に対し決算△106,548,619円で116,881,381円の増額、前年度繰越収支差額 予算△4,926,000千円に対し決算△4,926,035,995円で35,995円の減額、翌年度繰越収支差額 予算△5,149,430千円に対し決算△5,032,584,614円で116,845,386円の増額となった。

### 3-10 貸借対照表

#### ○ 資産の部

固定資産 本年度末14,990,100,238円に対し前年度末14,935,072,868円で55,027,370円の増額、流動資産 本年度末2,473,997,041円に対し前年度末2,244,076,981円で229,920,060円の増額となり、資産の部合計 本年度末17,464,097,279円に対し前年度末17,179,149,849円で284,947,430円の増額となった。

#### ○ 負債の部

固定負債 本年度末3,397,140円に対し前年度末13,312,652円で9,915,512円の減額、流動負債 本年度末865,850,384円に対し前年度末884,254,371円で18,403,987円の減額であり、負債の部合計 本年度末869,247,524円に対し前年度末897,567,023円で28,319,499円の減額となった。

#### ○ 純資産の部

基本金 本年度末21,627,434,369円に対し前年度末21,207,618,821円で419,815,548円の増額、繰越収支差額 本年度末△5,032,584,614円に対し前年度末△4,926,035,995円で106,548,619円の減額であり、純資産の部合計が本年度末16,594,849,755円に対し前年度末16,281,582,826円で313,266,929円の増額となった。この結果、負債及び純資産の部合計本年度末17,464,097,279円に対し前年度末17,179,149,849円で284,947,430円の増額となった。

## 監 査 報 告 書

学校法人 高崎健康福祉大学  
理事長 須藤 賢一 殿

令和2年 5月22日

学校法人 高崎健康福祉大学

監 事 永井 乙彦



監 事 高橋 永一



私たち監事は、私立学校法第37条第3項及び学校法人高崎健康福祉大学寄附行為第8条各号の定めに基づき、令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）の法人の財産の状況及び学校法人の業務の執行および決定の状況を監査いたしました。その結果につき下記のとおり報告いたします。

### 1. 監査方法の概要

監事は、理事会、評議員会に出席したほか、理事から業務執行および財産の状況につき説明を求め、報告を聴取しました。また、会計監査人である「新日本有限責任監査法人」公認会計士と連携を図り、計算書類につき検討を加えた。

### 2. 監査の結果

- (1) 財産目録、事業報告書、貸借対照表及び収支計算書は、法令及び寄附行為に従い法人の財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 学校法人の業務の執行に関しては、不正の行為がなく、かつ、法令及び寄附行為に違反する重大な事実は認められません。

以上

## 所在地

### 法人本部・健康福祉学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町37-1

TEL 027-352-1290 FAX 027-353-2055

URL <http://www.takasaki-u.ac.jp>

### 薬学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町60

TEL 027-352-1180 FAX 027-352-1118

### 保健医療学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町501

TEL 027-352-1291 FAX 027-352-1985

### 人間発達学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町58-2

TEL 027-352-5558 FAX 027-352-1311

### 農学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町54

TEL 027-388-8390 FAX 027-388-8393

### 高等学校

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町531

TEL 027-352-3460 FAX 027-353-0855

URL <http://www.tuhw-h.ed.jp>

### 幼稚園

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町506-1

TEL 027-352-3461 FAX 027-352-7180

URL <http://takasaki-u-kinder.com>

### クリニック

〒370-0036 群馬県高崎市南大類町200-2

TEL 027-388-8840 FAX 027-388-8860

URL <http://www.kendai-clinic.jp>